

計 算 書 類

(第 15 期)

2025 年 4 月 1 日 から

2026 年 3 月 31 日 まで

AGパートナーズ株式会社

貸借対照表

(2026年3月31日現在)

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	106,564	流動負債	11,838
現金及び預金	24,263	未払金	11,658
買取債権	89,169	未払法人税	180
立替金	51	固定負債	830,000
未収入金	40,417	長期借入金	830,000
仮払金	386	負債合計	841,838
貸倒引当金	△47,724	(純資産の部)	
固定資産	0	株主資本	△735,274
関係会社株式	0	資本金	10,000
		資本剰余金	5,000
		資本準備金	5,000
		利益剰余金	△750,274
		繰越利益剰余金	△750,274
		純資産合計	△735,274
資産合計	106,564	負債・純資産合計	106,564

損益計算書

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

(単位：千円)

科目	金額	
営業収益		
償却債権取立益	72,535	
買取債権回収高	135,460	
受取手数料	59,581	267,577
営業費用		
その他の営業費用	208,066	208,066
営業利益		59,511
営業外収益		
銀行受取利息	70	
貸付金利息	12,016	
雑収入	10,107	22,194
営業外費用		
支払利息	15,620	15,620
経常利益		66,085
特別損失		
関係会社貸付金貸倒損失	250,821	
その他	0	250,821
税引前当期純損失(△)		△184,735
法人税等		
法人税	4,280	
住民税	451	
事業税	1,327	6,059
当期純損失(△)		△190,794

株主資本等変動計算書

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本						純資産 合計
	資本金	資本剰余金				株主資本 合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益剰 余金	利益剰余金合 計		
				繰越利益 剰余金			
当期首残高	10,000	5,000	5,000	△559,479	△559,479	△544,479	△544,479
当事業年度変動額							
当期純損失 (△)				△190,794	△190,794	△190,794	△190,794
当事業年度変動額合計	-	-	-	△190,794	△190,794	△190,794	△190,794
当期末残高	10,000	5,000	5,000	△750,274	△750,274	△735,274	△735,274

【重要な会計方針】

1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

買 取 不 動 産 債権管理回収業の一環として取得した買取不動産は、個別法による原価法
(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

2. 引当金の計上基準

貸 倒 引 当 金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、担保付債権は個別に回収可能性を勘案し、それ以外の債権については貸倒実績率により、回収不能見込額を計上しております。

3. 重要な収益及び費用の計上基準

買取債権の自己競落により買取不動産を取得した際に発生する買取債権回収差益については、買取不動産売却時まで繰延処理をしております。

4. 控除対象外消費税等の会計処理

控除対象外消費税等は当期の費用として処理しております。

5. グループ通算制度の適用

グループ通算制度を適用しております。

【会計上の見積りに関する注記】

会計上の見積りにより当事業年度に係る計算書類にその額を計上した項目であって、翌事業年度に係る計算書類に重要な影響を及ぼす可能性があるものは、次のとおりです。

貸倒引当金 47,724 千円

当社の貸倒引当金は、買取債権及び長期貸付金の貸倒れによる損失に備えるため、回収可能額を見積り、貸倒引当金を計上しております。なお、当該見積りは将来の不確実な経済状況の変化などによって影響を受ける可能性があり、その結果、貸倒実績率や回収可能額が変動した場合には、翌事業年度の計算書類において認識する貸倒引当金の金額が増減する可能性があります。

【株主資本等変動計算書に関する注記】

発行済株式の種類及び総数

発行済株式の種類	前事業年度末株式数	当事業年度末株式数
普通株式	1,500株	1,500株

【重要な後発事象に関する注記】

該当事項はありません。